

# 汎用・強力・耐環境 大形コンベヤチェーン



## 変更前形番

**RF12200 F - AT - 1L A2**

サイズ  
ローラ形式  
仕様記号  
アタッチメント取付間隔  
アタッチメント形式

数量	編成
200L	100L×2H

注) 半数勝手違い

## 変更後形番

**RF12200 F - AT - 1L A2 + 100L - PR - H**

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

数量
2H

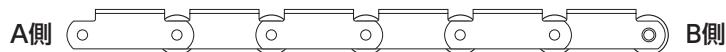
①	サイズ	メートル系 RF03 ~ RF36 + チェーンピッチ (mm) インチ系 RF430 ~ RF212
②	ローラ形式	S : Sローラ、M : Mローラ、N : Nローラ R : Rローラ、F : Fローラ
③	仕様記号	DT : 汎用コンベヤチェーン、AT : 強力コンベヤチェーン SS : 耐環境コンベヤチェーン
④	アタッチメント間隔	アタッチメントの間隔を示します
⑤	アタッチメント形式	アタッチメントの形式を示します 注) アタッチメント間隔が偶数の場合、以下の形式となります 外リンク取付 : A2 内リンク取付 : A2RL
⑥	リンク数	1本あたりのリンク数を示します チェーンは基本的に定尺単位で編成します これを超える場合は定尺と端数に分けて編成します
⑦	端末記号	23ページを参照ください
⑧	オプション記号	23ページを参照ください

# 大形コンベヤチェーン 記号の説明

## 端末記号の説明

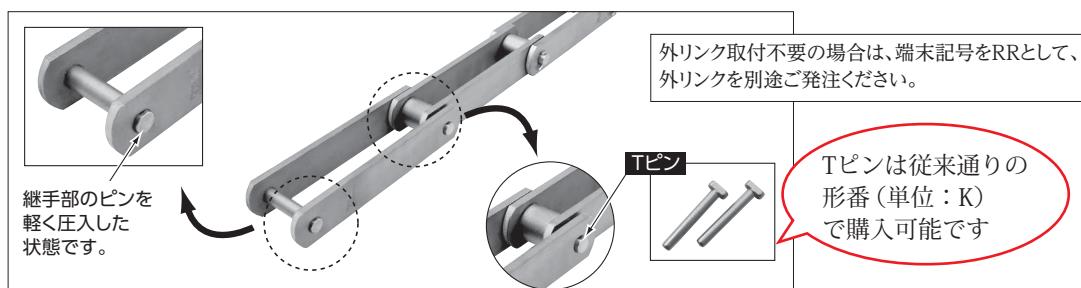
ご指定のチェーンの両端末の仕様を下表よりお選びください。各記号の意味は次の通りです。

P: 外リンク (PL)、R: 内リンク、O: オフセットリンク、K: 組込



端末記号	A側	B側	端末記号	A側	B側
PR (旧端末指示:PL-RL)			RR (旧端末指示:RL-RL)		
PP (旧端末指示:PL-PL)			POK (旧端末指示:PL-OL)		

定尺(約3m)のチェーンの一端は外リンク、他端は内リンクになっており、一般的にはチェーンを継ぎ足して長いチェーンとして使用ください。端末記号PRの継手部は紛失防止のため、軽く圧入した状態で納入します。(下写真参照)



## オプション記号の説明

オプション記号	オプション名	意味
H	半数勝手違い	並列で使用する一組のチェーンのアタッチメントが対称となるように製作します なおTピンの曲げ方向も対称にする必要がある場合は、別途指示が必要です <u>発注時に2H(2本)の数量指示だけでは半数勝手違いになりません</u>
K	相互差僅少	大形コンベヤチェーンの長さは、公差の範囲においてバラツキがあります。並列で使用する一組のチェーンにおいて、その全長相対差をできるだけ小さくしたい場合に、「組合せ編成」を行います 注) 大形コンベヤチェーンの全長公差は基準長さの±0.25%です 相互差僅少は、定尺(約3m)当りの全長を数本測定し、当社実績による統計処理に適合する場合は全数組合せを行わず、ランダムに組合せを行い、適合しない場合は全数全長測定し、組合せを行います “相互差〇〇mm以内”でのご指示(見積品)では、定尺(約3m)当りの全長を全数測定し、ご指示いただいた相互差〇〇mm以内におさるように組合せを行います チェーンの品種・サイズにより精度の制限がありますのでご相談ください <納入形態> 定尺(約3m)毎に左右色違いのエフを取付けています。取付けたエフには、チェーンを連結する順番が記入されています